

パシフィックコンサルタンツ株式会社

Project name

ワークライフバランス 「888(トリプルエイト)」プロジェクト

実施期間 平成 22 年 6 月 1 日～
平成 25 年 3 月 31 日

所在地 東京都多摩市関戸 1-7-5 せいせきC館
事業内容 建設コンサルタント業
URL <http://www.pacific.co.jp/>

建設コンサルティング業界大手のひとつ、パシフィックコンサルタンツは長年の課題である長時間労働を打破し、仕事のための8時間、自分と家族のための8時間、健康のための8時間(888：トリプルエイト)といった、メリハリのある働き方を目指している。

仕事の効率化に取り組む グループプロジェクト



グループプロジェクト：改善策を話し合う社員

グループプロジェクトとは、室単位(=チーム)で働き方を見直すもので、社員自身が課題抽出から改善策を実践する取組である。

今年、取り組んでいる6チームのうち、特に残業時間が多い河川部の河川計画水理実験室の山崎裕介氏は「残

業が多い要因のひとつは、時間をかけて仕事をせざるを得ないという固定観念が定着していること。働き方の抜本的な見直しは、現場技術者の切なる願い」と言う。

同チームの主な課題は非効率な会議運営等だった。これを改善するため同チームでは、会議の時間を明確にし、目的や議題を整理する取組を行った。また業務の効率化に向け、膨大にある既存資料のデータベース化等にも着手している。

プロジェクトに取り組んだ社員へのアンケートでは「仕事の効率が上がった」「コミュニケーションが活発になった」と8割前後が回答している。しかし「残業時間が減った」などの項目では課題が残っており、今後も挑戦は続く。

TV 会議システムで コスト削減を！

国内にある拠点間を移動する時間やコストのロスをなくすため、同社は、誰でも簡単に使える新しいTV会議システムを導入した。国内11拠点をリアルタイムでつなぐ。約30秒で起動



労務・法務部 WLB 推進事務局 河川部・河川計画水理実験室
油谷 百百子 氏 山崎 裕介 氏

し登録先を選ぶだけで交信できる同システムは、ネット環境さえあれば場所を問わずに使える。

出張にかかる交通費・人件費等少なくとも年間4千万円の削減を見込む。



テレビ会議の様子

業界全体のワークライフ バランス(WLB) 推進へ

業界全体として残業が多く発生するのは、工期が集中する年度末だ。これも長時間労働の大きな要因のひとつ。建設コンサルタンツ協会の副会長でもある同社の長谷川伸一社長は、国土交通省に契約工期の年度末への集中回避について発注者の協力を要請した。

様々な取組により、同社では繁忙期の3月の残業時間(月平均)が平成24年は2年前に比べ、1割以上減少している。現在は、より働きやすい環境づくりを目指し在宅勤務制度を検討中だ。

主な効果

WLB 推進の社内風土の醸成

社長自らがメッセージを発信。ワークショップ実施により管理職のタイムマネジメント意識が浸透し始めている。3月(繁忙期)における月平均の残業時間は1割以上縮減された。

働きやすい職場づくりへ活性化

社内 WEB サイトに社内の要望を吸い上げる窓口として「パシコンシェルジュ」を設置。働きやすい職場づくりに向けた

動きを進めている。

i-Pad の活用による時間の有効活用

「顧客との打合せ時にもその場で問題解決(資料等の確認)が可能になった」など効果が上がった。

ファミリーデーの実施で WLB の意味を体感

家族を職場に招くことで部門・世代を越えた交流が実現。社員やその家族に WLB の意味を体感してもらえた。

グループプロジェクト

社員へのアンケート(一部抜粋)

コミュニケーションが活発になった	41%	44%	15%
仕事の効率が上がった	18%	59%	23%
趣味等プライベートが充実	6%	28%	66%
残業が減った	3%	30%	67%

■ 当てはまる ■ まあまあ当てはまる □ 当てはまらない

*37名が回答